

=

## 御案内

=

### <<京都府易道協同組合 第七十三期総会・研修会・懇親会>>

春の候、皆様には皆様におかれましては日々御健勝のことと存じます。さて、私共京都府易道協同組合におきましては、本年5月24日（日）に第七十三期総会及び研修会と懇親会を開催する運びとなりました。今回は大阪大学名誉教授・立命館大学教授の湯浅邦弘先生をお招きし『孔子の「アイコン」—東西南北・上下左右、尊いのはどちら？—』と題して御講演を頂きます。きっと有意義な時間を過ごして頂けるものと存じますので、皆様是非ご参加を頂きますよう、お願い申し上げます。

-----  
記

<場 所> 京都ガーデンパレス

総会・講演会：2F『祇園の間』

懇親会：2F『葵の間』

〒602-0912 京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町605

電話番号：075-411-0111

■京都市営地下鉄

「丸太町」駅（四条駅～2駅、京都駅～4駅）下車2番出口左手、徒歩約8分

「今出川」駅（国際会館駅から5駅）下車6番出口右手 徒歩約8分

<日 時>

2026年5月24日（日）

講演会『孔子の「アイコン」—東西南北・上下左右、尊いのはどちら？—』

大阪大学 文学部 名誉教授

立命館大学 文学部 教授 湯浅 邦弘 先生

15：00～16：30（受付開始14：30より）

懇親会 17：00～19：00（受付開始16：30より）

<会 費> 組合員：10,000円 一般：13,000円

（※ 研修会のための御出席の場合は¥5,000と

させていただきます。受付にてお申し出下さい。）

= 恐れ入りますが5月18日までに御返事を頂きますようお願い致します =  
（尚、5月21日以降に懇親会をキャンセルの場合は会費を頂戴致します）

## ☆講師 湯浅 邦弘 先生 プロフィール

大阪大学 名誉教授  
立命館大学 教授 博士（文学）。  
専攻は中国思想史

著書に

『孔子は、いかにして「神」になったのか』

『中国古典の生かし方』（NHK出版新書）

『中国思想の基礎知識』（角川選書）

ほか多数



### 湯浅先生から御講演内容の紹介

今から2,000年以上前の漢代の古墓から、孔子の彩色画が発見されました。現存最古の肖像画です。そこに描かれた孔子とその弟子たちの空間配置はどのような意味を持っていたのでしょうか。またそもそも、古代中国において、東西南北や上下左右には、どのような価値観が込められていたのでしょうか。

### 理事長より

この度、敬愛する大阪大学名誉教授で現、立命館大学教授の湯浅邦弘先生に御講演をお願いすることができました。湯浅先生とは私共の友好団体であり講師とも大変お世話になっております公益社団法人 日本易学連合会様の研修会にて御縁を頂いて後、長く御交誼を頂いております。NHK Eテレの『100分de名著』などの番組にも出演され、難解に思われがちな中国古典を親しみやすくわかりやすい解説される先生として人気を博しておられます。占いの世界というのは非常に奥が深く、尚且つ幅広い世界と関わっているもの。スピリチュアルな世界でもありつつ哲学でもあり統計学でもあり、自然科学でもあります。湯浅先生には歴史学・考古学の観点、そして中国古典の世界から易道占術の世界にアプローチした興味深く魅力的なお話を伺えることと存じます。皆様こそって御聴講下さいますようお願い致します。

泰 志龍